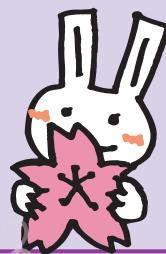




平成24年4月1日発行

こうせい



【脳卒中】？【脳梗塞】？【脳出血】？ それって、何がどう違うの？



よく耳にする「脳卒中」とは、どのような病気を言うのでしょうか？

「卒中」とは突然（突然）邪氣や邪風に中（あた）るという意味です。脳に酸素や栄養を送っている脳の血管が破けて脳内に血液が漏れ出したり（脳出血）、詰まつたり（脳梗塞）して、血液が脳の先まで行かない状態を脳卒中といいます。突然手足の麻痺やしびれが出る、呂律が回らない、あるいは意識がなくなる等の症状が見られます。今回は、代表的な脳卒中の種類についてご紹介します。

脳梗塞

動脈硬化などのために動脈が狭くなったり（脳血栓）頸の動脈や心臓内に出来た血の固まりが脳の動脈に流れ込み（脳塞栓）、詰まつてしまつたために起こるもので、突然発症するもの、段階的に増悪するものなど病態により様々ですが、脳血栓では多くの場合、前ぶれの症状としてめまい、頭痛、舌のもつれ、手足のしびれ、半身麻痺や意識障害などが現れます。

脳出血

脳の血管が破裂して出血をおこすもので、多くの場合日に頭痛や嘔吐、意識障害、麻痺が突然起ります。高血圧が慢性的に続いていると細い血管の一部が膨らんでこぶのようなものができます。さらに高血圧の強い圧力が加わると、その一部が破裂して脳組織に広がり出血となって脳障害を起します。血圧のコントロールが重要となります。

代表的な 脳卒中の種類

くも膜下出血

脳は、くも膜など三層の膜で覆われていますがくも膜と脳の表面との間に太い血管に小さな動脈にこぶ（動脈瘤）があると、血圧があがった時などに破裂して出血（脳動脈瘤破裂）しくも膜下出血になります。特徴として突然激しい頭痛、嘔吐などが起りやすく、重症になると意識障害を起こし急死することもあります。高齢者だけでなく40歳代位の比較的若い人にも起こります。

一過性脳虚血発作

脳の血管が詰まる脳梗塞のうち、24時間以内に回復するものをいいます。脳梗塞の前触れ発作ともいわれ、一時的に片方の目が見えなくなる、舌のもつれ、半身麻痺などの症状が起きます。再び血液が流れると症状もなくなります。

そのまま放置していると脳梗塞発症の危険が高くなりますので、早めの検査・治療が重要となります。



はやめの検査と治療が肝心です！

脳卒中治療のポイントは、何と言っても「いかに早く専門治療を受けるか」です。おかしいな？という症状が現れたら、すぐ病院へ！また、日頃から高血圧や糖尿病といった生活習慣病の治療を受け、脳卒中を予防していきましょう。（文：広報委員）

病院機能評価Ver. 6 認定されました

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動・機能が適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。

恒生病院は平成18年に病院機能評価の初回認定を受け、今回は病院機能評価Ver. 6を更新受審しました。審査の結果、平成23年12月2日に「一定の水準を満たしている」と機能評価の認定を取得することができました。しかし指摘された課題もあり、今後も継続的に質改善に取り組むべく、定期的な評価・検討を行っていきたいと思います。

交通のご案内

電車でお越しの方…

三宮方面からは神戸電鉄「谷上」駅より、三田方面からは神戸電鉄「三田」駅より「道場南口」駅下車、すぐ。

お車でお越しの方…

中国自動車道「西宮北」インターを降り、有馬街道を三田方面へ約2km。

駐車場のご利用について

病院南側に契約駐車場がございます。お車の方はこちらをご利用下さい。
(診察を受けられた方に限り、駐車券を病院会計までお持ち頂くと3時間まで無料となります。)



患者の権利と義務

全ての患者は個人として人格と価値観を尊重され、医療従事者との信頼、相互協力関係のもとで誠実な医療、看護を受ける権利を有しています。そのため恒生病院では患者の権利とそれに伴う義務を定めています。

権利

1. 良質な医療を平等に受ける権利

患者は誰でも社会的地位、民族、国籍、宗教、障害の有無によることなく最善の医療を平等に受ける権利があります。

2. 十分な説明と情報を得る権利

患者は自分が受ける治療や検査に関して分かりやすい言葉で十分に理解できるまで説明や情報の提供を受ける権利があります。

3. 自己決定する権利

患者は十分な説明と情報提供を受け、医師や病院の選択、治療方法を自ら決定する権利があります。

4. 自分が受けた医療について知る権利

患者は自分の病気や受けた治療について知る権利があり、カルテの開示などを求める権利があります。

5. 個人情報が守られる権利

患者は診療に関する個人情報やプライバシーを厳しく守られる権利があります。

義務

6. 患者は自身の健康状態や考え方を医療従事者に正確に伝えてください。

8. 患者は他の患者の治療や療養生活に支障をきたさないようにしてください。

外来担当医表

平成24年4月1日より 【受付時間】午前診 8:30～11:30 夜間診 17:00～18:30

		月	火	水	木	金	土
午前診 9:00～ 4診のみ 月:火・木・土 10:00～	1診 (脳外予約)	予約診 (田村)	予約診 (奥田)	予約診 (頃末)	予約診 (頃末)	予約診 (古瀬)	古/頃/田 交代制
	2診 (脳外)	古瀬 (再診)	古瀬 (初・再)	奥田 (再診)	田村 (再診)	頃末 (初・再)	※2奥田 (初・再)
	3診 (整形)	藤代	平田	小林	河本	小林	藤代
	4診 (内科)		高橋	※1藤田 (初・予約診)	小坂	※1藤田 (初・予約診)	
	5診 (脳外初診)	頃末		※1田村 (初・予約診)	池田	田村 (初診)	
午後予約診			奥田				
夜間診 17:00～	1診 (脳外)	古瀬	頃末	奥田	田村	田中	
	2診			頃末(脳外)			
	3診			津田(内科)			

※1 水・金の内科・藤田診、脳外科・田村診は予約優先となります。

※2 第5(土)は代診となります。

★ 1診は予約の方のみとなります。

予約診の受診方法については、受付にてご確認下さい。

★ 救急搬送や緊急手術などにより、急な変更がある場合がございますのでご了承下さい。

無料送迎バス

病院から無料送迎バスの運行もございます。

送迎ルートや時刻表については、直接病院総合受付窓口までお問い合わせ下さい。 代 078-950-2622

恒生病院の理念と方針

理念

誠実な医療・介護を通じて社会に貢献する

方針

- ・脳神経外科を中心とした救急医療に情熱を持って取り組み、地域医療に貢献します。
- ・患者さまの尊厳を守り人権を尊重し、安心で安全な医療・介護を提供します。
- ・絶えず新しい知識と高度な技術の習得に努め、地域から信頼される施設を目指します。
- ・職員一人一人が生きがいとやりがいを持って全人格を医療・介護に捧げられる職場を実現します。
- ・法規範を遵守し、開かれた施設として情報を公開し、第三者評価を積極的に受け入れます。

施設管理者（院長） 古瀬 繁

リハビリテーション科のご紹介

脳神経外科を主な診療科とする恒生病院は、急性期のリハビリテーションにも力を入れています。リハビリテーションは対象と目的によって「理学療法」「作業療法」「言語聴覚療法」の大きく三種類に分かれています。現在、当院のリハビリテーション科には、理学療法士十名、作業療法士五名、言語聴覚士四名、柔道整復師一名、リハビリ助手一名の計二十一名が所属し、各々の患者さまに合ったリハビリテーションを提供しています。

■ 恒生病院のリハビリは「急性期」から「回復期」まで

恒生病院の入院患者さまは、脳血管疾患の後遺症として麻痺が残り、歩行や日常生活が困難となった方や、嚥下・言語障害が残った方が多くおられます。当院では早期の回復を目指し、廐用性症候群(筋力低下・関節拘縮等)の予防をはかるため、主治医指示のもとほとんどの患者様に対し入院当日または翌日よりリハビリテーションを開始しています。

開始後は、各セラピストが患者さまの状態を把握し、ひとりひとりに合った訓練方法でリハビリテーションを行います。

平成25年春には当院横に「回復期リハビリテーション病棟」がオープンする予定です。今後も充実したリハビリテーションを提供できるよう、スタッフ一丸となって頑張っていきます！

(リハビリ科 中島)



恒生病院 リハビリテーション室（1階）

リハビリテーションや専門病院についてご質問があればお気軽にご相談下さい



クリスマスコンサートのご報告

2011年12月17日（土）、第20回院内音楽会「クリスマスコンサート」を開催しました。今回はベルコンチェルト様にイングリッシュハンドベルを演奏して頂き、クリスマスらしいムードで会場は盛り上りました。患者さまやご家族、地域の方々など本当に多くの方にご参加頂き、「減入っていた心が癒された」など嬉しいお言葉を頂戴しております。ご協力誠にありがとうございました。（広報委員 足立）



次回は
♪あじさいコンサート♪
を予定しています

出演：ゆがふバンド
(沖縄音楽の演奏)

- 2012年6月23日（土）
- 午後2時15分～3時
- 当院1Fロビー ● 無料

みなさまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください！
職員一同、心よりお待ちしております。

Step 3

言語聴覚療法とは

失語症等の方に対し、言語機能の回復をはかり、コミュニケーション手段を確立します。また嚥下障害の方に対しての摂食訓練や、患者様の状態に合わせた食形態を調整することで、嚥下機能の回復を目指します。

※言語聴覚士は「のー」と略されます
(speech therapist)



Step 2

作業療法とは

作業療法の目的は「応用的動作又は社会適応能力の回復」です。排泄・更衣・入浴・食事動作など日常生活に関連した応用的動作や、高次脳機能障害などの精神機能の回復をはかることで、社会適応能力の回復を目指します。

※作業療法士は「OT」と略されます
(occupational therapist)



Step 1

理学療法とは

理学療法の目的は「基本的動作能力の回復」です。関節可動域制限や筋力低下といった身体機能の改善をはかることで、「起きる」「座る」「立つ」「歩く」といった基本的動作の回復を目指します。

※理学療法士は「PT」と略されます
(physical therapist)



恒生病院となり グループホームこころに続き 小規模多機能型居宅介護こころがオープンしました

グループホームこころ

グループホームとは、認知症の高齢者が少人数で家庭的な雰囲気の中、いかにその人らしく、楽しい日常生活を過ごしていただけるかを専門スタッフが考え日常生活を支援しながら共同で生活するところです。平成23年秋より恒生病院関連施設としてオープンしました。

小規模多機能型居宅介護こころ

小規模多機能型居宅介護とは、介護の必要な高齢者が住み慣れた自宅や地域において、在宅生活を継続するため「通い」を中心としてご用者様の様態や希望に応じ「訪問」や「泊まり」を組み合わせ24時間365日を包括的に支えるというサービスです。

介護認定や神戸市に住民票があること等、入所・利用に要件がございますが、まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

TEL 078-950-1166

恒生病院内において医療ソーシャルワーカーもご相談に応じます



↑台所
←居室